

## 新年を迎えて

会長 高橋 志保彦



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、会員の皆様のご協力のもと、理事会での審議が活発に行われ、5月の総会で決められた当協会の活動方針が着実に実行に移されました。総務部会で進める会員名簿作り、トイレ文化研究会、ノーマライゼーション研究会、メンテナンス研究会の知識の集積と研究活動。HP委員会で行っているHPコンテンツの充実です。11月には世田谷区、世田谷区教育委員会との共催で世田谷区立世田谷中学校で開催された「学校とトイレ／第30回全国トイレシンポジウム」も小林実行委員長はじめ実行委員会の皆様のご尽力で大変盛会でした。学校のトイレの大切さ、子供たちの生活とトイレの関わり、トイレ整備の問題点など、多岐にわたり問題点を抽出、解決についての方策を討議しました。会員からの日頃の活動や研究のプレゼンテーションも内容が充実し、グッドトイレ選奨も他の範になるもので、皆さんの地道な、そして

社会福祉や美化に対する思いやりが伝わる素晴らしいものでした。海外での日本文化や日本人の思いやりに基づく見事な活動の紹介もありました。それに私たちとの友好協会である、台湾衛浴文化協会の游明国副理事長が馳せ参じられ、故呉明修初代会長の逝去の知らせと偉業の数々をPPTで投影して下さいました。私たち一同心から氏の両協会の交流に努力された功績に感謝し、ご冥福を祈りました。

本年出版する予定の「トイレ学大事典」の原稿も大凡集まり、現在編集委員が文体調整をしている段階です。この編集委員の皆様の多大なご尽力にも深く感謝いたします。

また昨年来、外部からの問い合わせ、特にマスコミの取材や行政からの問い合わせが驚くほど増えています。生活の中でのトイレの重要さの気づき、快適なトイレへの関心、わが国のトイレの見事さを改めて見直している状況が見えてきます。外国からの観光客の増加、2020年の東京オリンピックへ向けてのトイレの在り方など、多くの人々が関心を寄せるようになりました。本当の意味でわが国はトイレ先進国になったと改めて感じます。しかしまだまだ災害時のトイレ問題、病院における患者の尊厳とトイレ問題、女性が輝く社会づくりとトイレ問題等々、やるべきことが数多くあるとことも事実です。皆様の知恵を結集して、トイレ環境の改善に取り組んで参りたいと思います。

今年は日本トイレ協会設立30周年に当たります。30周年記念事業担当の山本副会長のもと、5月総会ならびに秋の全国トイレシンポジウムに向けて準備が行われています。会員の皆様の様々なご意見を頂いてプログラムを決め、素晴らしい30周年イベントを作り上げていきたいと思っております。

本年が輝く一年になりますよう皆様と共に力を注いでまいりたいと思っております。

# 学校とトイレ／第30回全国トイレシンポジウム 経過概要

こんなに大事な学校トイレ — 現状・課題・対策 —

■ 日時 2014年11月15日(土) 晴

■ 会場 東京都世田谷区立世田谷中学校体育館 東京都世田谷区梅丘3-8-1

■ 主催 日本トイレ協会 世田谷区 世田谷区教育委員会

■ 後援 14団体

文部科学省、東京都教育委員会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会  
一般社団法人日本医療福祉設備協会、医療福祉環境エビデンス研究会、都市環境デザイン会議  
一般社団法人日本医療福祉建築協会、公益社団法人国際観光施設協会、一般財団法人自然公園財団  
一般社団法人日本福祉のまちづくり学会、NPO法人地域交流センター、NPO給排水設備研究会  
全国管工事業協同組合連合会(順不同)

■ 協賛 14社

TOTO株式会社、株式会社LIXIL、一般社団法人日本衛生設備機器工業会、日野興業株式会社  
住友ベークライト株式会社、日本カルミック株式会社、株式会社シミズオクト、株式会社アメニティ  
中日本ハイウェイ・メンテナンス中央株式会社、湘南ステーションビル株式会社、株式会社井戸屋、  
株式会社総合サービス、MRCデュポン株式会社、桜木神社(順不同)

■ 参加者 244名

内訳 講師・登壇者 19名、実行委員・スタッフ、トイレ協会理事 44名

トイレ協会会員 60名 協会以外の参加者 73名 世田谷区関係者 48名

■ 運営体制について

今回は事前申込みを行い、受付時間を10分程早めたので、混雑は回避できた。

世田谷区及び教育委員会から多くのスタッフを出して頂き、山崎小学校見学も66名の参加があった。

会場設営は㈱シミズオクトに委託したので予定通りスムーズに経過した。

交流会は当日申込31名を含め総勢97名の参加があり盛り上がりを見せた。

■ 経過

趣旨説明 小林 純子 第30回全国トイレシンポジウム実行委員長(日本トイレ協会副会長)

主催者挨拶 保坂 展人 世田谷区長

〃 高橋志保彦 日本トイレ協会会長

基調講演 対談形式「これからの学校施設におけるトイレ改善の意味」

長澤 悟(東洋大学名誉教授) 新保幸一(文部科学省官房文教施設部 技術参事官)

司会進行 高橋志保彦(日本トイレ協会会長)

- 事例発表 1 「15年間トイレ改善に取り組んだ先行事例」  
安間 正伸（世田谷区教育委員会事務局 施設課長）
- 事例発表 2 「学校のトイレ改善の動き」 河村 浩（学校トイレ研究会）

故呉明修氏を偲んで 高橋志保彦（日本トイレ協会会長）

去る10月30日に急逝された台湾衛浴文化協会初代会長であり、日本トイレ協会名誉会員である「呉明修」氏を追悼して高橋会長より「日台のトイレ文化交流に功績のあった氏のご冥福を祈る」趣旨の挨拶があり、本シンポジウムに急遽駆けつけて頂いた「遊明国」氏（台湾衛浴文化協会副理事長）が故呉明修氏の逝去のお知らせと偉業の数々をPPTで投影して下さいました。参加者全員で黙祷、氏のご冥福をお祈りしました。

休憩 グットトイレ選奨投票（体育館内に展示）／学校トイレの事例展示／企業等商品展示

分科会1 学校トイレの現状と課題（体育館）

コーディネーター 小林純子（日本トイレ協会副会長／設計事務所ゴンドラ）

パネリスト

武田 充功（川崎市教育委員会事務局 教育環境整備推進室）

野田 敬三（近江八幡市教育委員会 教育施設整備推進室）

平岩 正行（神戸市住宅都市局 まちのデザイン室）

及川 幸子（南三陸町議会 議員）

原 昭夫（NPO復興まちづくり研究所副理事長）

分科会 2 学校トイレのメンテナンス（多目的室） 清掃は誰が？ 維持管理は？ 予算計画は？

コーディネーター 坂本 菜子（日本トイレ協会副会長／坂本コンフォート研究所）

パネリスト

磯田 勝（さいたま市立学校事務職員研究協議会会長）

瀬古 浩史（㈱アメニティコスモス 代表取締役）

井上 和男（日本トイレ協会 メンテナンス研究会幹事）

村上八千世（アクトウェア研究所代表）

プレゼンテーション・セッション（日本トイレ協会会員による研究発表）

進行 倉田丈司（日本トイレ協会理事）

① 小中学校のトイレ施設における心理・教育的支援を目的とした色彩設計に関する研究報告

山下真知子（大手前大学現代社会学部教授）

② 現代の若者が学校トイレに求めるもの 福代梨里花（立教大学経営学部学生）

③ 伝えなければ、伝わらない 竹中 晴美（みんなに優しいトイレ会議委員長）

④ 災害対策としての井戸利用「自然水の活用を通して社会に貢献」 綾 久（㈱井戸屋代表取締役）

⑤ アートなコラボ、生徒とAS輪組 中野 晶子（AS輪組）

■ グットトイレ選奨 応募11件（選奨6件 入選5件）

今回は11件の応募があり、いずれも地味な活動や使用する立場に徹したもので、また海外にあって日本のトイレ文化を現場で立証されている事例など多彩な内容でした。

投票者数 101名

審査委員（会長、副会長、理事、事務局長）16名

審査方法 当日シンポジウム参加者による投票と、事前の審査委員の投票を合せて、最終的に、当日の審査委員会で選定した。（選奨作品～上位5位 入選作品～5位以下の作品）

No	グットトイレ選奨
1	みんなで作る学校のトイレ 滋賀県近江八幡市教育委員会事務局 教育施設設備推進室 野田敬三
2	お出掛け先の安心感&みんなにうれしい「まちかどトイレ」 「みんなにやさしいトイレ会議」 実行委員会 竹中晴美（長崎市）
3	「高速道路休憩施設のトイレにおける待ち行動」 中日本高速道路㈱東京支社 環境・技術管理部 環境・技術チーム 伊藤佑治 山本浩司
4	トイレ×アートで地域づくりに取り組んでいます おおいたトイレナーレ実行委員会事務局 佐藤栄介
5	ローマ三越のトイレエ夫改善運動 ～花と香水のトイレづくり～ ローマ三越 樽見秀爾 丹下美佳
6	小さなトイレで大きな感動の空間づくり ～トイレってこんな交流もできるんです NEXCO 東日本グループ鶴岡（東北支社、メンテナンス、エンジニアリング、トール、パトロール各鶴岡事業所）

No	グットトイレ入選
7	「伝えよう、学び合おう、トイレの大切さ。トイレから考えよう。」 ～横浜市立羽沢小学校3年生によるトイレ学習と取組み ㈱アメニティ トイレ診断士1級 小林明美
8	「ECO-SCHOOL WASEDA」 株式会社 日建設計 設備設計部門 塚見史郎
9	学校のトイレをアートな空間に、子どもたちのための豊かなスペースを AS輪組（理事） 本庄晶子建築設計事務室（主幹） 中野晶子
10	「人のトイレより我がトイレ」 コマニー株式会社 製品開発部 研究開発課 高橋未樹子
11	トイレ革命：「簡易無臭小便器」を創りました！！ ㈱サンケイサポート 代表取締役 入澤 徹

選奨委員会 ～ 日本トイレ協会理事会の企画部会内に「グットトイレ選奨委員会」を設け運営を行った。

委員長 小林純子副会長

委員 浅井佐知子、川内美彦、寅太郎、松田芳夫、森田英樹 各理事

## ■ 当日の内容・シンポジウムの評判について

- ① 参加者の半分以上を協会員以外が占め、例年にない新鮮さがあった。
- ② 内容が多岐に亘り、貴重なご意見を聴けて有意義な時間であった。
- ③ 文部科学省より無料参加者全員配布用に小冊子「学校トイレ改善の取組事例集」300部寄贈を頂いた。
- ④ 学校のトイレ研究会より無料配布小冊子200部の寄贈を頂いた。

## ■ 交流会について 会場 世田谷区民会館内「けやき」 参加者数 97名

司会 橋本正法氏 (NPO 法人地域交流センター代表理事)

乾杯挨拶 長澤悟氏 (東洋大学名誉教授)

スピーチ 安間正伸氏 (世田谷区教育委員会事務局施設課長)

遊明国氏 (台湾衛浴文化協会副理事長) 通訳 (高橋会長)

終始和やかな雰囲気が進められ、グットトイレ選奨の発表、表彰、受賞者のコメント、世田谷区など共催、後援、協賛団体・企業などへの感謝状の贈呈が行われ盛会裡のうちに終了した。

## ■ 総括 山本 耕平 (日本トイレ協会副会長)



今回のシンポジウムは「学校とトイレ」のテーマのもとに、さまざまな観点から問題を提起し、解決への方策を討議しました。基調講演では長澤先生から「学校建築の変革とトイレの改善の曙」と題して、文部科学省の新保参事官に「学校トイレの老朽化対策と改善に向けて」それぞれ現状と問題点そして対策に至るまで、奥行のある論議が展開されました。

日本トイレ協会が活動を始めたのは約30年前になりますが、長澤先生のお話ではこの時期まだ学校トイレはあまり重要視されていなかったと云うことです。

この30年間、阪神大震災をはじめ大規模災害が度々起き、学校は教育の場であると同時に避難所として使われ、地域の共有施設としての機能や役割が見直されています。その中でトイレは重要な施設として見做されるようになってきたこと、さらに学校建築の老朽化に伴って建替えや大規模改修が進みつつあり、トイレを改善する機会になっていると云うことであります。

事例発表では世田谷区の15年間に亘るトイレ改善への取組み、18年間にわたる学校トイレ研究会の「現場と子供たちの声を聴く」などの地味な活動に啓発された参加者も多かったのではないかと思います。また「学校トイレ改善の課題と可能性」「学校トイレのメンテナンス」の二つの分科会を設けましたが、学校トイレは子供たちの生活の場と災害対応と云う二つのニーズがあり、その結果としてハードは整備されても、今度はその維持管理が課題になると云う問題が、それぞれの分科会の共通のテーマになったのではないかと思います。

プレゼンテーション・セッションでは5名の会員の発表があり、絶え間ない日頃の努力の様子を垣間見ることが出来、改めてトイレの広い裾野と高みについて考えさせられました。発表者のなかには学生会員

もおられ協会の未来に明るい希望がもてました。

恒例のグットトイレ選奨は11件の応募があり、学校トイレの取組みの他、外国で日本のトイレ文化を実践的に発信している事例もありました。

今回のシンポジウムは総括的にトイレ文化を深め、広げる役割を十分に果たし、私どもの30年間の蓄積が結晶した内容だったと思います。来年以降のシンポジウムも更に充実し発展するよう皆様と力を合せて努力して行きたいと念じています。ご多忙のなか参加された皆様方に厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、当協会とともに、このシンポジウムを共催して頂きました世田谷区ならびに世田谷区教育委員会様、会場をご提供頂いた世田谷中学校様に心から御礼申し上げます。またこのシンポジウムの計画から実施まで献身的かつ主体的に取り組んで頂いた実行委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。

■ 企業展示 8社 体育館内に展示

- (株)岡村製作所 ～ 学校のトイレブース
- 関西ペイント販売(株) ～ トイレの消臭効果ある漆喰塗料
- (株)オーイケ ～ 環境配慮型汚水処理システムOKBB
- (株)サンケイサポート ～ 防災備蓄・屋内使用可の簡易トイレ
- (株)クライテリア ～ トイレ空間脱臭
- 住友ベークライト(株) ～安全安心。全ての人に快適なトイレ空間
- (株)総合サービス ～ 災害用トイレ 携帯トイレ
- Reme(株) ～ 水も電気も科学薬品もいらない無水エコトイレ

第30回全国トイレシンポジウム 実行委員会		
役員	氏名	所属
実行委員長	小林 純子	日本トイレ協会副会長／設計事務所 Gondra 代表
日本トイレ協会実行委員	高橋志保彦	日本トイレ協会会長／建築家／神奈川大学名誉教授
〃	山本 耕平	日本トイレ協会副会長／ダイナックス都市環境研究所所長
〃	木内 雄二	日本トイレ協会理事／TOTO(株)コミュニケーション本部
〃	倉田 丈司	〃／(株)LIXIL 渉外管理部
〃	寅 太郎	〃／(株)レンタルのニッケン常務執行役員
〃	浅井佐知子	〃／設計事務所 Gondra
〃	橋本 正法	NPO法人 地域交流センター代表理事
〃	太田 憲人	日本トイレ協会会員／教育環境研究所
〃	村上八千世	〃／アクトウエア研究所代表
〃	福代梨里花	〃／立教大学学生
〃	島田 美紀	〃／東洋大学学生
アドバイザー	春日 敏男	一般社団法人世田谷トラストまちづくり理事
世田谷区 実行委員	安間 正伸	世田谷区教育委員会事務局 施設課長
〃	佐藤 千香	〃 施設課
〃	鈴木 香織	〃 〃
〃	中村 亮太	〃 〃
〃	市川 雅万	世田谷区施設営繕第一課長
〃	美濃部芳和	〃 第一課
〃	三矢 潤一	〃 〃
〃	新垣 尚吾	〃 第二課
実行委員会事務局	佐竹 明雄	日本トイレ協会事務局長
〃	渡部 敏子	設計事務所 Gondra

## 【当日の風景】

### ＜趣旨説明＞

### ＜主催者挨拶＞



小林純子実行委員長



世田谷区保坂展人区長



日本トイレ協会高橋志保彦会長

### ＜基調講演＞



司会進行 高橋志保彦会長



対談；東洋大学長沢名誉教授 左

文部科学省官房文教施設部  
神保幸一 技術参事官 右



事例発表1（世田

### レクチャー風景

谷区教育委員会事務局 安間施設課長)





真摯な質疑応答



会場の雰囲気

事例発表2 学校トイレ研究会  
河村浩氏氏



台湾衛浴文化協会初代会長 故呉明修氏 追悼

台湾衛浴文化協会 遊明国副理事長 右

<分科会 1> 学校トイレの現状と課題



- コーディネーター 日本トイレ協会副会長 小林純子氏  
 パネリスト 川崎市教育委員会事務局 武田充功氏 近江八幡市教育委員会事務局 野田敬三氏  
 神戸市住宅都市局計画部 平岩正行氏 宮城県南三陸町議会議員 及川幸子氏  
 NPO 復興まちづくり研究所副理事長 原昭夫氏 (左から)

<分科会 2> 学校トイレのメンテナンス — 清掃は誰が? 維持管理は? 予算計画は?





コーディネーター 日本トイレ協会副会長 坂本菜子氏  
 パネリスト 日本トイレ協会メンテナンス研究会幹事 井上和男氏  
 さいたま市立学校事務職員研究協議会会長 磯田勝氏  
 アクトウェア研究所代表 村上八千世氏  
 株式会社アメニテ

スモス代表取締役 瀬古浩史氏 (左から)

<プレゼンテーションセッション>



大手前大学 山下真知子教授



立教大学学生 福代梨里花氏



イコ

みんなにやさしいトイレ会議  
 竹中晴美委員長



(株)井戸屋 綾久 代表取締役



AS輪組 中野晶子氏

<グットトイレ選奨>



みんなで創る学校のトイレ  
近江八幡市教育委員会



お出掛け先で安心感&みんなにうれしい「まちかどトイレ」  
みんなにやさしいトイレ会議



高速道路休憩施設のトイレにおける待ち行動」  
中日本高速道路㈱東京支社技術管理部



トイレ×アートで地域づくりに取り組んでいます  
おおいたトイレナーレ事務局

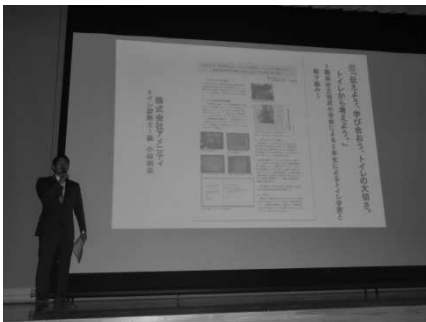


ローマ三越のトイレ工夫改善運動  
ローマ三越



小さなトイレで大きな感動の空間づくり  
NEXCO 東日本グループ 鶴岡

<グットトイレ入選>



「伝えよう、学び合おう、トイレの大切さ。トイレから考えよう」  
株式会社アメンティ 小林明美



「ECO-SCHOOL WASEDA」  
株式会社 日建設計



「人のトイレより我がトイレ」  
コマニ㈱ 高橋未樹子

<展示コーナー>



トイレ革命「簡易無臭小便器」を創りました





<交流会>



乾杯 長沢悟名誉教授



グットイレ選奨受賞の皆様



グットイレ選奨発表 川内理事



感謝状贈呈



表彰状贈呈





アロハ・オエの輪

<2014年度グットトイレ選奨 受賞>

## ローマ三越のトイレ工夫改善運動

花と香水のトイレづくり

樽見 秀爾

丹下 美佳



### はじめに

世界の国々から連日多くの観光客がローマを訪れます。永久の都と呼ばれるローマの街並みは、街自体が博物館であるとも称賛されております。しかし、一般にローマ市内の公衆、商業トイレはハードソフト両面から不具合が多いため、多くの観光客にとっては大きな悩みごとであります。

さて、ローマ三越はローマテルミニ駅にほぼ近い所に位置しています。日本、中国、台湾はじめアジアから、そして世界各国から多くのお客様を毎日お迎えしています。

このような環境のもと、ローマ三越では社員〔イタリア人、日本人、中国人、台湾人〕の文化、慣習などの違いを超えて、トイレ環境への工夫改善運動が有志によって2011年からスタートいたしました。今日では、お客様アンケート回答の中にも、或は日々のトイレご利用のお客様からもお褒めのお言葉を戴けるまでになりました。

トイレ清掃は専門業者が担うものと言うイタリア文化の常識をどう覆してボランティアチーム《バーニーズ》が、自ら進んで参加するようになったのか？なぜ続けて来られたのか？この機会にレポートすることに致します。

### A. トイレ工夫改善運動序章

3年前<2011年>は、清掃専門業者に任せきりでしたから、何処にもあるようなごく普通のお客様用トイレ《十分に手入れされていない状態》だったと申せます。しかし、イタリアでは職種が明確に規定されており、販売担当の一般社員が会社のトイレの清掃を担うことは出来ません。勿論、会社が社員に清掃を指示することは許されません。ですから、会社が清掃業者と契約をしてトイレ清掃を任せることは当然のことなのです。従いまして、連日およそ500人前後のお客様をお迎える当店としては、業者による朝夕の清掃だけでは、トイレを清潔にかつ快適に保つことは不可能なことでした。このままでは他の商業施設のトイレと差異がなく、お客様にご満足を頂くことは非常に難しいとの思いに至りました。お客様の多くはグループ来店で概ね、お昼前後と夕刻5時頃にご来店されることが多く、短時間のお買物時間内での集中したトイレのご利用となります。

実際、お客様ご利用の後にトイレをチェックすると、①便器の汚れ、②ドア施錠のトラブル、③便座のボルト外れ、④ハンガー破損、床タイルの水びたし等々、男女の各トイレの何れかが問題を抱える状態が長い期間続いた訳です。当然のことですが、お客様はお国によってトイレのご使用上のマナーはまちまちですから私達としましては出来るだけ、根気良くトイレを観察して必要な対応〔拭く、拾う、流す、押す〕を行い、絶え間ない手入れをしなければなりません。

## B. お客様用トイレ革命宣言

お客様トイレの運営に息を吹き込むきっかけとなったのが、翌年2012年8月20日の《お客様用トイレ革命宣言》ローマNO. 1のお客様用トイレづくりを全員で目指そう！と、支配人はじめ社内の部門長宛にメールにて大目標を発信したことでした。併せて、“仲間づくりの輪を広げる”キャンペーンを開始しました。常にキレイな状態にトイレを保つためには、業者清掃担当の人とのコラボが欠かせません。新しい切り口として、ボランティア活動を募ることにしました。社内に同じ意識を持った仲間を集うことです。

自らお客様用トイレの環境改善に協力してくれる仲間を〔バーニーズ〕というネーミングで呼ぶことにしました。イタリア語で、トイレ、水周りのことを\*BAGNOといいます。複数形は、\*BAGNI〔バーニ〕です。それに英語のSを付け加えた合成語です

“ローマ三越BAGNI\*S～バーニーズの誕生です“

## C. BAGNI\*Sの日々の活動について

それでは、BAGNI\*Sの日々のボランティア活動をご紹介します。

### 開店30分前の活動

- 1 トイレの各室チェック〔ごみ、汚れ、水洗、便座等〕
- 2 水周りのチェック〔手洗い器、ハンドドライヤー〕
- 3 切り花、ブーケなどの用意、または手入れ
- 4 香水のチェック〔残量確認〕
- 5 入り口チェック表記入

### 開店後1時間毎〔1日10回〕の活動



1 在席しているメンバーによって、其々男性用トイレ、女性用トイレを視認して、必要な作業を行います。また、使用不能になった時の対応、故障の際の掲示など、相談しながら進めています。

2 14時から、ほぼ時間毎に専門清掃係りが入りますので、状況を説明してトラブルの内容に応じて、具体的に仕事を依頼します。

3 チェック表にトイレの状況を記号[A, B, C]にて記入します。

A. ⇒綺麗な状態である。

B. ⇒汚れやごみが落ちている。

C. ⇒水洗ほか、不具合があった。

※そのほか、余白には“気づき”を書き入れます。

#### 閉店時の活動

- 1 トイレの各室チェック〔ごみ、汚れ、水洗、便座など〕。
- 2 不具合が発覚した時には、早急の対応を総務部安全係りへ依頼します。
- 3 化粧室の消灯。
- 4 チェック表〔男性用、女性用、計2枚〕をファイリングします。



#### 留意点、その他

※活動、参加の基本は、本人の自由意思としています。

※必要に応じてBAGN I\*S間の情報交換、意見交換会を開催しています。

※本年は、11月19日の「世界トイレの日」の教宣活動を実施しました。

#### D. まとめ

トイレをご利用されたお客様から頂いたアンケートの一部をご紹介します。

- ① とにかくトイレが綺麗だったことが嬉しかった。
- ② トイレが無料 さすがは日本企業。
- ③ 日本人にとって安心して買い物やお手洗いが出来て有難かった。
- ④ トイレの中にあった香水は、とても良い匂いでした。
- ⑤ トイレが綺麗で気持ち良かったです。有難うございました。

ローマ三越のトイレをご利用頂いた、あるお客様の声をご紹介します。

トイレが綺麗だと云うことは、こんなに心が安らぐことなのですね。  
今まで当たり前で使用していた日本のトイレの素晴らしさが分かりました。

これは一例ですが、日本人が日本の外へ出て初めて知る日本の文化の繊細さの一面を見直すきっかけ作りとなる大切な場所となった訳です。このようなお客様の数々のお声をお聞かせ戴けることが、私達バーニーズには何にもましてこころの糧となり、お客様から感謝のお言葉を頂く度に温かなほのぼのとした感動と感激を味わっております。私達は、このボランティアに係わって色々なことを学ぶことができました。お客様トイレの環境整備の維持発展は、会社(団体)の文化的位置付であり《おもてなし精神》の発露の結果なのではないかと思えます。今後とも、私達は世界からご来店されるお客様により快適なトイレ空間を創り、気持ち良くご利用頂きたいと願っております。

#### E. ローマ三越 チーム‘バーニーズ’から日本トイレ協会会員の皆さまへご提案したいこと

これまでご紹介させて頂きましたように、バーニーズは一人ひとりが自主的にチームに加わって、いつの間にか10名以上の塊(かたまり)と大きく成長して参りました。私達の合言葉は、いつも“バーニーズ”です。私達は、日本トイレ協会様並びに協会の会員の皆さまへご提案したいことがございます。

それはトイレ文化活動〔清掃管理運営、トイレ環境事業、等〕に係わるボランティアの人たちを“ソムレット”(ソムリエ「仏」とトワレット「仏」の合成語)と命名することです。

トイレ文化活動のボランティアに誇りを持って果敢にチャレンジできる環境づくりのはじめ一歩として、ネーミング“ソムレット”の必要性と大切さをご提案させて頂きたいと思えます。是非とも、日本トイレ協会様並びに会員の皆さまにご一考賜りますように心からお願い申し上げます。



#### ▼ BAGNI\*Sメンバーご紹介 (アイウエオ順)

アレッサンドラ チナルディ、アンナ エラリオ、イリス ジャン、グラツィア リュウ、ステファニア ベルナベイ、樽見秀爾、丹下美佳、ティツィアーナ タリアボスキ、西森茂、パオラ ムッソリーノ、マリア アントニエッタ パナッタ、マッシモ ヴァレンティーニ、マリーナ サレルノ

13名

#### DOMENICA\*Sメンバーご紹介(アイウエオ順)

※10月19日発足 / 日曜日担当

エマヌエレ モハメッド、佐藤珠花、フェデリコ ジェルソミーニ 3名



## トイレの色彩設計について

小・中学校のトイレにおける心理・教育的支援に根差した色彩設計

～研究ノートより～

山下 真知子

### はじめに

「色」を普段の生活に採りこみ、気分を盛り上げる方法について取材や講演テーマとして依頼されることがよくある。それほど人々の関心事である「色・いろ」だが、意外と「色」を意識的に生活に採りこんでいる人は少ない。色を感知する視覚は五感のうちで実に9割近い情報量を持っているとさえ言われる。人は食べ物やにおいや触感も「見て判断」しているということになる。であれば、視覚情報の殆どを占める「色」が人々の関心事であることも頷ける。ここでは、研究論文の体裁を外し、できる限りわかりやすく、研究の経緯や学校トイレの色彩設計についての思いを伝え、一人でも共感してくださる方々と出会えることを願ってやまない。

### 本研究への思いに根差すもの

さて、本研究テーマに着手する前、高齢者施設の色彩環境について調査研究していた。一日に数軒ずつ、毎日朝から夕方まで、実に100件ものさまざまな地域の高齢者施設を回った。訪問した施設は、老健施設と言われ病院から出て一時療養しながら、自宅での生活を再開させる為に肉体的な機能回復を試みる施設である。比較的新しい施設の内装には自然の木が使われ、自然素材ではないまでも木を模した色が採り入れられ、落ち着いた「癒し」の環境に配慮されていた。お年寄りだからおちついた「癒し」の環境でゆったりと和んで回復期を過ごしていただきたい、という施設の思いが、とてもよく伝わってきた。たぶん、誰もが回復期を過ごす高齢者「らしい」環境のイメージとして、穏やかな環境をと考えるのだろう。落ち着いた和風ホテルのような施設のあちこちには、リハビリの為に作られた折り紙やぬり絵の作品等が展示されていた。展示されているそれらの作品を見た時、ふと高齢者「らしさ」とは何だろう、という疑問がわいた。というのも不自由な手先を駆使しながら時間をかけて一生懸命織り上げた折り紙やぬり絵の作品の数々には、作者の「活力」や「活気」「躍動感」が溢れていたからである。そしてそれらは、作られた環境の「落ち着き」や「癒し」などとは対極にあるイメージであった。ところが残念なことに、薄暗く落ち着いた木の色が続く通路に飾られたそれらの作品は目立たないばかりか、かえって地味で寂しい印象は否めなかった。表現されたカラフルな小作品が施設を演出し、作品から溢れる「活力」や「活気」を誰もが共感、共有することができるような環境こそ、高齢者施設の「らしさ」ではないか、と感じたのである。



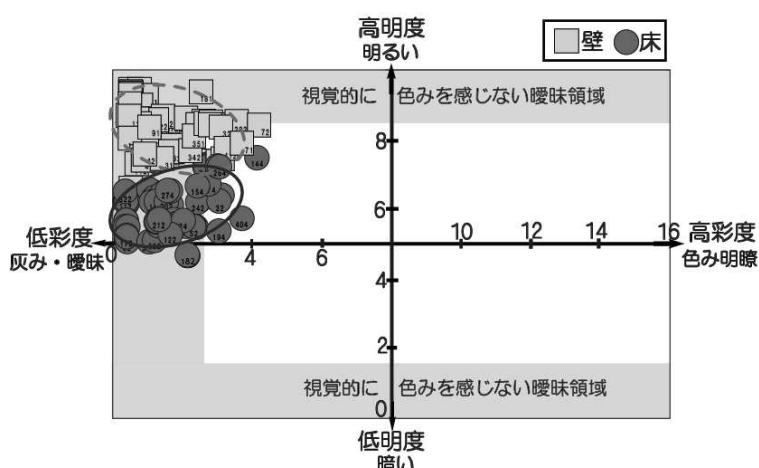
高齢者施設では、入所者や働く者のQOLを保障するための色彩環境を探求し、共用廊下、居室、多目的室、EVホール、トイレなど生活の中の全てを司る環境の色彩の在り方を提示した。これらの経験は特に人間の原初的な尊厳にかかわる「排泄行為」の自立を促すトイレについてさらに自らの問題意識に揺さぶりをかけることになった。施設で暮らす高齢者は自ら生の環境を選ぶことはできない。高齢者と同じように自ら選ぶことができない環境を余儀なくされる社会的弱者である子どもの生育環境-学校-もまた、同様のことが言える。

その後、本研究に至る時に、教育委員会に学校の色彩設計の意図が何だったのか訊ねたことがある。しかし担当者からは「何の意図もなく標準的で褪色に耐え得る色彩設計が慣例になった結果だと思う」とのことであった。以降「小・中学校のトイレにおける心理・教育的支援に根差した色彩設計に関する研究」というテーマを色彩と心理的なアプローチで迫る本研究は、そういった意味で社会的弱者である彼らの「生きる」環境の質を色のチカラで支援できるという信念に支えられている。

### 国内外の小・中学校のトイレの色彩環境実態調査から見てきたもの

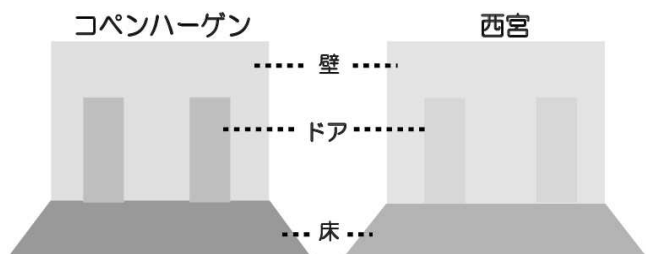
昨今、子どもたちが学校でトイレに行かない現状をどのようにとらえるか。全国の自治体が調査した結果と同様に、筆者が西宮市で実施したユーザーのトイレの利用頻度の調査においても小学生では5割以上、中学生では2割以上の児童・生徒(2700名)が学校でトイレを利用しない、大便を我慢すると答えている。主な理由は、男女とも、汚い、臭い、恥ずかしい、である。このことからトイレ環境には機能的な問題と情緒的な課題を併せ持つことが明らかである。本研究は、特に学校のトイレ施設に視点を充て、児童・生徒の心身の調和的発達や自助支援等、学校生活の質向上に向けて視覚的な教育環境を見直すための指針を明らかにし、今後の施設リノベーションに活用されることを本来の目的とするものである。

そこでまず初めに着手したのが、学校トイレの色彩の実態調査である。色彩は人により「見え方」が主観的であることから、ここではコンピューター色度計を使い、明るさの度合い、色傾向の度合いを測定した。次に示す図[1]は西宮市公立小・中学校62校のトイレの壁と床の明度/彩度の分布を示すもので、壁、床を同じグラフ上にプロットしたものである。グラフの上～左～下部分に示したグレーの編掛部分は、私たちの眼には「灰色」と認識され、色みを感じさせない明度/彩度の範囲である。この結果より壁、床の色彩はいずれも低彩度、中～高明度で色みを感じさせず、壁と床の色の差異は曖昧で小・中学校のトイレの色彩環境は「灰色の近似色」であることが見て取れる。



図[1] 小学校トイレ壁・床色の明度・彩度分布

文科省は「一般に、学校建築の色彩計画は、単調で無味乾燥なもので終わるケースも多いが、効果的な演出によって雰囲気をもりたてていく工夫が望まれる。」(ニュースクール計画, 文部省, 平成2)。と提言する。本研究ではこれまで、国内の62校の調査に加え、海外の小学校のトイレ環境にも着目してきた。教育機会の平等、公平という理念と運営の福祉国家であるデンマーク公立小学校21施設54事例、そして、デ・スタイル運動発祥の地であり、新造形主義ともいわれる三原色や水平、垂直の直線の特徴としたデザイン様式を誇る国が、現在の学校のトイレ施設の色彩設計に、どのような影響を及ぼしているか、デザイン面からもオランダ



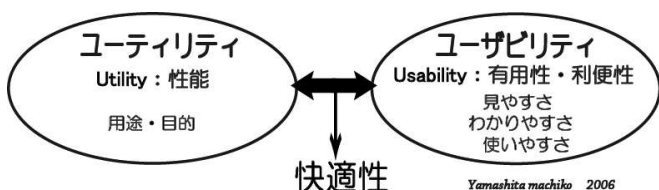
図[3] 壁・床・個室ドアの明度平均値によるシミュレーション

小学校 25 施設 60 事例、さらに義務教育の期間が最も長い英国ロンドン 7 施設 10 事例について同様に色度調査を試みた。図[3]は、西宮市とデンマーク コペンハーゲン市それぞれの小学校トイレの壁、床、ドアの明度平均値をグレースケールでピクトグラム再現したものである。全体にぼんやりと曖昧で安定感に欠けるなじみの西宮事例に対して、コペン事例は地が安定し、個室ドアがアクセントとなり、きわだちの色彩設計であるといえる。色は相対的な見えとして認識することから、切り取った側面だけでは性急な結論は出せない。海外事例から学べる重要な点として ①空間の用途や目的を明確にした上で目印となる箇所を際立たせる色彩を採用している、②個室ドアなど施設の用途から際立たせる意図を持つ箇所の明度は背景となる壁と安定感を意図した床を結ぶ中間の値を採用している 2 点が挙げられる。

海外の小学校に調査オファーをかける度に「なぜ、トイレの色彩なのか？」と不思議がられたことも少なくない。しかし日本の畳文化と海外の土足文化といった生活様式そのものの違いからくる慣例という点を差し引いても残念ながら日本の学校トイレにおける色彩設計に関する意識は低いと思わざるを得ない。

何が美しいのか、何色が調和するのか等、設計者の意図的なデザインへのこだわり以前に、床は二本の足で着地する場所、最も大きな面積を占める壁は心理的な影響が大きい場所、個室ドアは排泄という目的達成を支援するサインとしてあるもの等、基本的な事を海外事例に学び、今後の改善へ向けた可能性を大きく示唆されることになった。

### トイレの色彩設計におけるユーティリティとユーザビリティ



図[4]色彩設計における「快適性」の概念

図[4]は施設の色彩設計をする際に、色彩の快適性について考察する概念である。公共施設における建築設計は、トイレ内装も商品の一部である個人住宅やホテル等とは異なり、公共施設そのものの用途や目的に即したユーティリティ (性能) とユーザビリティ (利便性) をまず整合させる点が優先される。つまり、トイレであれば、ユー

ティリティ (性能) とは装飾的なことではなく、例えば個室のドアは壊れていないか、水がちゃんと流れるか、清潔であるか、安全か等々、排泄行為を行う上で最低限の機能が付帯されているか、という点である。同時に、ユーザーが「見やすい」「わかりやすい」「使いやすい」といったユーザビリティ (利便性) の要素を備えていることが、まず公共トイレでの最低条件であるといえる。これらを感じや感情だけでなく、生体そのものにも影響を及ぼす要素としての色彩面から言い換えるならば、ユーティリティ (性能) とは、色彩の持つ知覚的、心理的な働きとしての機能面や情緒面に配慮できているか、ということになる。たとえば、環境スペースの広さやゆったり感に関する印象は、実際の広さではなく、色彩によって見た目の広さのイメージが異なってしまう (遠近感や膨張・収縮感など)。色彩は、人間の五感に訴求する要素であり、広さだけではなく匂いや温度、情緒の安定感までも人に与える影響は大きい。安心して排泄できる環境は、高価な材料を使わなくても、安価な塗料で実現できる可能性がある。トイレの色彩環境でのユーザビリティ (利便性) の要素とは、街中の看板や標識などにみられるような、色彩の持つコミュニケーションの力を活用できているかということである。

### 西宮市の小・中学校のトイレペイント改修実践で見えてきたもの

そこで、調査を進める一方で、平成 23 年度より西宮市内の小・中学校に対してトイレの色彩改修オファーを募り、本格的にトイレの色彩改修に着手し始め、平成 25 年度末には 46 事例、さらに平成 26 年度末には、50 事例が加わり、西宮市内で改修オファーのあった小・中学校 19 校のうち 1~2 校を残し 100 事例近い

トイレ改修を実践してきた。トイレの色彩環境改善は子どもたちの心理・教育的支援を目的としているためトイレ空間における色彩の心理効果を探る必要がある。であれば、実際のトイレをペイント改修し改修事例に対するユーザーの心理評価を得ることができ、同時に現状を色彩改善できる、まさに研究と貢献が両立できるのではないかと考えてきた。

改修に採用した色は、既に設えられているタイル、パーテーションの色との対比や同化による見えや面積、奥行感に配慮した上で、明るさの演出とユーザーが認識しやすい色彩を採用した。建築の色彩に関しては心理・生理学や建築工学の領域から、環境の一要素として捉えられ、これまでの知見では生活の営みにおける感情と色の関わりの重要性が指摘されている。

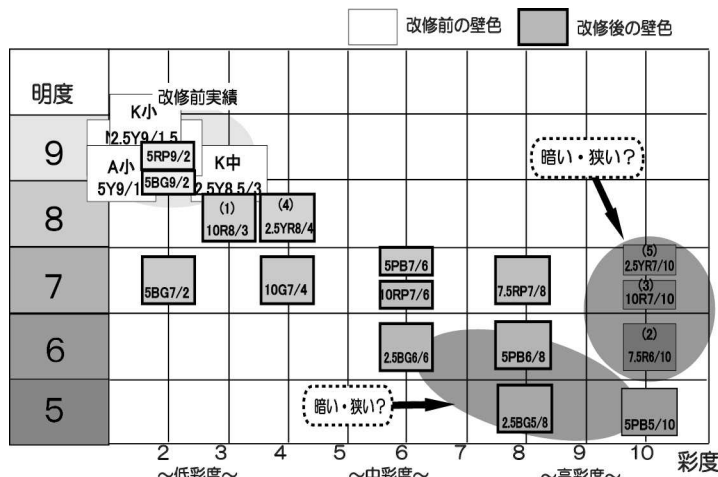
しかし我国では、色彩の心理的効果からアプローチした色彩設計に関する研究は希少で使い手の立場から捉えた具体的な設計の体系化には至っていない。事例を積み重ね、5000名あまりの改修前・後のユーザー評価を得ていくうちに、ユーザーの印象評価結果が色彩心理的効果の定説とは異なることに気付いたのである。右表は色彩心理効果の定説を簡単に示したものである。色彩心理効果の定説では明度が下がると暗く、明度が上がると明るく感じ、彩度が高いと迫ってくるように見えることから狭く感じると言われている。改修事例は改修前のトイレ空間色よりも快・不快を含めて心理的効果を探るための実験色を兼ねていたことから、事例を積み重ねるにつれ仮説の限界まで彩度を上げ明度を下げ、鮮やかで主張のある色を採用してきた。(図[5])当然ユーザーの事後評価は「暗くなった、狭くなった」という回答を予測していたが、明暗については色相

に関係なく6~7割のユーザーが「明るくなった」と答え、広さ狭さについても色相に依らず「広くなった」と答えたユーザーが2割に上った。また、雰囲気については、例えば「青」は心理的に静かで落ち着いた印象を呼び覚ますとされるが、改修前と比べて「軽やかになった」「楽しい」と答えた生徒が3割以上もいる。環境から得られる心理的な事象を調査する場合、様々な要素が絡む実際の現場では同じ被験者であってもその結果の信頼性に限界がある。これらの点については色の心理効果としての定説と色彩空間で起こるそれには齟齬があることを示唆しており、現在、十分な調査や実験による実証を試みる準備を進めている。

### むすびとして

小・中学校のトイレに限らず、施設を調査すると、その施設の管理者や利用者による正しいトイレの使い方などをアピールした手づくりポスターを目にする機会が多い。それらは、親近性を感じさせるが、先に述べた「快適性」には遠い。もし例えば水洗レバーの使い方、スリッパの着脱等の注意を促すような色彩設計等、色彩をコミュニケーションツールとして有効活用することに意識を向ければ、今ある条件下でも、よりよい環境改善を実現できる可能性が見えてくる。

「我々の感じ方や態度は、光と色に大変強く影響され、色は環境づくりに目的をもって使われなければならない」(E.C. Brawley, 2002)。色彩は、物理的な支援を行うわけではないが、ユーザー自身の心に語りかけ、



図[5] 事例の改修前色と改修採用色の明度・彩度の関係

#### 色彩心理効果の定説

- 色相(色み) 面では暖色(R~RP~YR)は「暖かく」「進出」  
寒色(B~PB~BG)は「冷たく」「後退」
- 色相(色み) に関係なく明度が下がると「暗い」「狭い」「硬い」
- 色相(色み) に関係なく彩度が上がると「強く」「派手な」

ユーザー自らの自助力を覚醒させたり妨げたりする影響力を持つ。視覚情報の殆どを占める「色」は使われ方ひとつで、自助支援のツールになるか、ただの装飾で終わるか、使われ方ひとつで学校トイレが抱える課題解決になる可能性を持つ。視覚情報の殆どを占める「色」だからこそ学校トイレに限らず持続可能なユニバーサルデザインの実現を目指すツールとして是非、人々の関心事であってほしい。

(大手前大学 現代社会学部 教授)

## 理事会経過(11月~12月)

第7回理事会 11月04日(火) 17時30分 ~ 19時30分 於 (株)レンタルのニッケン

議題 1 第30回全国トイレシンポジウムについて

2 出版事業について

3 名簿作成について

4 各委員会報告

5 事務局連絡 入会(個人)2名

問合せ状況 10月分 15件 4月以降の累計125件(前年48件)対前年比260%

第8回理事会 12月01日(月) 17時45分 ~ 19時45分 於 (株)レンタルのニッケン

議題 1 出版事業について

2 来年度の体制について

3 トイレ協会30周年記念事業について

4 第30回全国トイレシンポジウム報告

5 各部会報告

6 事務局連絡 入会(個人)1名

問合せ状況 11月分 18件 4月以降の累計143件(前年66件)対前年216%

### 編集後記

2014年度最後の協会ニュースをお届けします。協会と会員の皆様をつなぐコミュニケーションとしての役割を果たすべく努めております。昨今ではメール全盛でペーパーレスの時代と云われて久しいのですが、アナログ的に地に足をつけたペーパーによる意思疎通も大切なことだと思います。協会は30周年を迎えます。記念事業として「トイレ大事典」の刊行も粛々と準備が進められており、記念事業実行委員会も立ち上りました。

昨年来から外部からのトイレに関する問い合わせが激増し、前年比で2倍強になっています。また昨秋の全国トイレシンポジウムの参加者数が外部の方が会員を圧倒的に凌駕しました。これらの現象から、諸先輩のご苦勞のおかげで30年の歳月の経過を経て、協会が社会的に認知を頂いている実感がいたします。今回のニュースはシンポジウム経過をメインに、遠い異国の地にあってトイレを日本文化の象徴として捉え、終りのない地道な努力を継続している「ローマ三越」様の取組み、新会員の山下真知子先生の「トイレの色彩設計」研究など、フレッシュな活動を紹介させて頂きました。寒さは続きます、くれぐれもご自愛ください。(S)

日 本 ト イ レ 協 会 〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION

東京都文京区春日 1 - 5 - 3 春日タウンホーム 1 F ~ A

URL:<http://www.toilet-kyokai.jp>

Tel/Fax 03-5884-6123

e-mail:[jta-jimukyoku@toilet-kyokai.jp](mailto:jta-jimukyoku@toilet-kyokai.jp)